「初療室に搬送された患者のうち初療室から血管造影室へ入室、動脈穿刺までの当院での所要時間の把握」に対するご協力のお願い

このたび当院では上記の看護学系研究を災害医療センター倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可の元、倫理指針および法令を遵守して実施します。今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さまは、その旨を「9　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1　対象となる方

2023 年 1 月から 2024 年 12 月までに当院に外傷により搬送された患者

2　研究議題名

初療室に搬送される外傷患者の血管造影室へ入室、動脈穿刺までの当院での所要時間の把握

3　研究組織

研究機関：独立行政法人国立病院機構災害医療センター
研究責任者：看護部　九貫　瞭
共同研究者：看護部　佐々木　ふみ
看護部　佐藤　美沙子
看護部　塩野　彩

4　研究の目的・方法

当院の初療室搬送からカテーテル治療を行った患者が病着から何分で血管造影室に入室しているのか、また、動脈穿刺までの所要時間を集積し後ろ向きに検討します。それらのデータの解析により今後の看護の質向上に活かしていきたいと考えています。

5　協力をお願いする内容

患者さまに新たに協力や負担をお願いすることはありません。
具体的には以下の情報を診療録および手術記録より抽出いたします。
病院到着から診断までの時間、診断後から血管造影室入室までの時間、血管造影室入室から動脈穿刺までの時間、診断、処置の内容

6　本研究の実施期間

研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

7　個人情報の取り扱い

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

8　研究資金等および利益相反に関する事項

利益相反はありません

9　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。
また、本研究の対象となる方やその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の利用や他の機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった際には、適切な措置を行いますのでその場合も下記へご連絡をお願いいたします。

実務責任者：九貫　瞭
住所：東京都立川市緑町 3256
電話：042-526-5511
FAX：042-526-5535
E メール：kunuki.ryou.yb@mail.hosp.go.jp
お問い合わせ時間：平日 9 時～17 時